

広報 つきがた

No. 117

昭和54年8月10日発行
発行/新潟県月潟村役場
毎月10日発行 1部10円

(昭和52年7月22日第3種郵便物認可)

人口動態	7月31日現在		7月中の移動	
	世帯数 808	人口総数 3,888	出生 3	転入 1
	(男 1,913	女 1,975)	死亡 3	転出 7



鎌試験技術講習会

よりよい品質をめざして

鎌製品の品質を検査する施設が商工会館の一室と旧消防車庫に備えられたので、七月九日午後一時より商工会館で検査の方法等を中心に講習会が行なわれました。

講師として、新潟県工業技術センター三条試験場技師佐野武夫氏を招き、講義をお願いしたが、鎌業者二十七人が出席し盛会であった。鎌は昔からの経験により製造しておりますが、製品の硬度、鋼素質等を検査機により調べた上で、どの点で技術上に問題があるかを調査し、製造技術を研究し、技術の向上を図るものです。

講習会は、引き続き十六日、廿三日に実施されました。

全国有数の鎌産地として、近代化を進め、益々飛躍したいものです。

施設の内容は次のとおりです。

- 硬度計 四五〇千円
- 金属顕微鏡 二四〇千円
- “ ” 撮影装置 五〇千円
- 試料たく磨機 一一八千円
- 高速精密切断機 一九五千円
- グライダー外消耗器具 四七千円

計 一一〇千円

“生きがい”づくりは
みんなの手で

老人福祉週間

九月十五日は「敬老の日」。また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。

お年寄りは、これまで永年にかけて社会に貢献してこられた。長寿を心からお祝いするとともに、今後も今日までつちかかってきた知識と経験を社会に役立てていただきたいものです。こうしたことが、お年寄りの生きがいになると同時に、世代を越えた新しいコミュニケーションの場にもなるのではないのでしょうか。

老人に生きがいのある社会を共に築いていきたいものです。